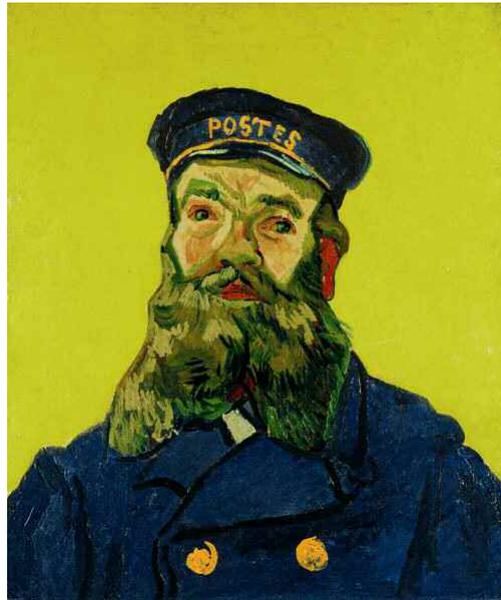


ゴッホも、ルノワールも、すべてが日本初公開!!

ザ・コレクション・ヴィンタートゥール

スイス発 知られざるヨーロッパ・モダンの殿堂

Masterpieces from the Collection of the Kunstmuseum Winterthur



フィンセント・ファン・ゴッホ
《郵便配達人 ジョゼフ・ルーラン》1888年

ヨーロッパ・モダンの秀作群 全90点が日本初上陸

拝啓

残暑の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は兵庫県立美術館の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当館では平成22年10月21日(木)から12月26日(日)まで「ゴッホも、ルノワールも、すべてが日本初公開!! ザ・コレクション・ヴィンタートゥール」展を開催いたします。

スイスの小都市ヴィンタートゥールは、資産家たちが数多くの美術作品を集めた優れた文化都市として知られます。なかでも街の中核施設ヴィンタートゥール美術館は、ヨーロッパ近現代の美術を一望できる良質なコレクションを誇ります。本展は、これまで国外でまとめて展示されることのなかったこの作品群を初めて大規模に紹介するものです。ファン・ゴッホやルノワール、ピカソら巨匠の名品に加え、ホドラーやジャコメッティなど、スイスおよびドイツ美術の優品も並べ、近代美術のダイナミックな展開を幅広い視野から展覧します。出品作品90点はすべて日本初公開です。

つきましては、ぜひ本展を広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券もご用意しております。ご希望の場合は、別紙のFAX用紙をご送付ください。その他、ご不明な点や資料のご要望等がございましたら、どうぞ当館までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

敬具

会期等 平成 22 年 10 月 21 日（木） - 12 月 26 日（日）
休館日：月曜日
開館時間：午前 10 時 午後 6 時（金・土曜日は午後 8 時まで）

会場 兵庫県立美術館 企画展示室

主催 兵庫県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援 スイス大使館、財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会

協賛 JT、大阪芸術大学、ダイワボウ情報システム、ライオン、清水建設、大日本印刷

協力 日本航空、Lufthansa Cargo AG、スイス インターナショナル エアラインズ、ホテルオークラ神戸

観覧料 一般 1300(1100)円、大学生 900(700)円、高校生・65 歳以上 650(550)円、中学生以下無料
()内は前売りおよび 20 名以上の団体割引料金 高校生・65 歳以上は前売り販売なし
障害のある方とその介護の方 1 名は各当日料金の半額（65 歳以上除く）
コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要（本展とあわせて観覧される場合は割引あり）

関連事業 **記念講演会 兵庫 EU 協会創立 20 周年事業**

「近代の芸術家と集団肖像画 ヴァロットの《5 人の画家》をめぐって」
11 月 14 日（日）午後 2 時～午後 3 時 30 分
講師：三浦 篤（東京大学大学院総合文化研究科教授）

「ヨーロッパ近代絵画を見る眼 保存修復の視点から」
12 月 5 日（日）午後 2 時～午後 3 時 30 分
講師：大原秀之（絵画修復家・吉備国際大学文化財学部教授）
いずれもミュージアムホール（定員 250 名 聴講無料）

学芸員による解説会
10 月 30 日（土）、11 月 13 日（土）、11 月 27 日（土）、12 月 11 日（土）、12 月 25 日（土）
いずれも午後 4 時から約 40 分
レクチャールーム（定員 100 名 聴講無料）

おやこ解説会「ひげの男をさがせ！」
11 月 6 日（土）午後 1 時 30 分～午後 2 時
12 月 4 日（土）午後 1 時 30 分～午後 2 時
いずれもレクチャールーム（定員 100 名 聴講無料）

ミュージアム・ボランティアによる解説会
会期中の毎週日曜日 午前 11 時から約 15 分
レクチャールーム（定員 100 名 聴講無料）

【このプレスリリースについてのお問い合わせ】

兵庫県立美術館
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1（HAT 神戸内）
ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

（展覧会の内容に関すること）

TEL：078-262-0909 FAX：078-262-0913 担当学芸員 速水 豊

（情報提供・広報に関すること）

TEL：078-262-0901（代）/078-262-0905（直） FAX：078-262-0903 営業・広報グループ

展覧会構成 * 作品総点数 59 作家による 90 点 (うち絵画 74 点、彫刻 16 点)

第 1 章 フランス近代 : ドラクロワから印象派まで

フランス 19 世紀半ばから印象派までの流れをドラクロワ、コロー、ドーミエ、モネ、ピサロ、シスレー、ルノワールの 13 点でたどる。



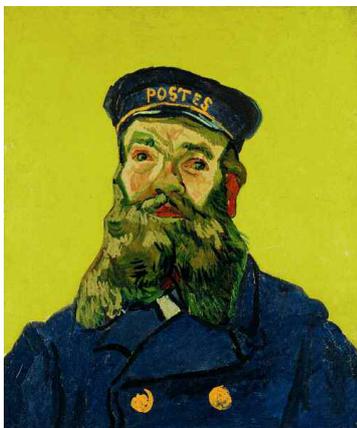
アルフレッド・シスレー
《朝日を浴びるモレ教会》1893 年



ピエール=オーギュスト・ルノワール
《水浴の後》1912-14 年頃

第 2 章 フランス近代 : 印象派以後の時代

いわゆる後期印象派や象徴派など、19 世紀末フランスにおける印象派以降の絵画および同時代のロダン以降の近代彫刻を紹介。



フィンセント・ファン・ゴッホ
《郵便配達人 ジョゼフ・ルーラン》1888 年



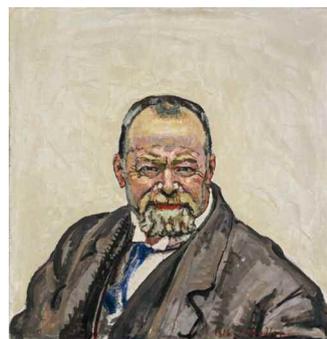
オディロン・ルドン
《アルザス または 読書する修道僧》1914 年頃

第 3 章 ドイツとスイスの近代絵画

19 世紀後半におけるドイツとスイスの絵画を展示。ドイツ印象派のリーバーマンやコリント、スイスの巨匠ホーダーらの作品 11 点。



アルベルト・アンカー
《コーヒーとコニャック》1882 年頃



フェルディナント・ホーダー
《自画像》1916 年

第4章 ナビ派から20世紀へ

フランス世紀末に活躍したナビ派の画家、ドニ、ボナール、ヴューヤールらの作品を中心に、20世紀初頭までのフランス絵画を紹介



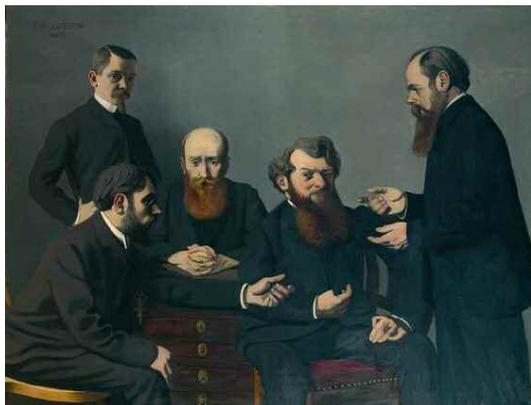
モーリス・ドニ
《エヴァ・ムリエの肖像》1891年



エドゥアール・ヴューヤール
《室内、夜の効果》1893年

第5章 ヴァロットンとスイスの具象絵画

スイス生れのナビ派の画家ヴァロットンを、代表作を含む5点によって紹介、あわせてスイスの同時代の具象絵画も展示。



フェリックス・ヴァロットン
《5人の画家》1902-03年

第6章 20世紀：表現主義的傾向

20世紀初頭、ドイツを中心に展開した表現主義的傾向を紹介。カンディンスキー、クレー、コシュカ、ベックマンらの作品9点。



ワシリー・カンディンスキー
《はしごの形(しみの上の)》1929年



パウル・クレー
《水脈占い師のいる風景》1923年

第7章 20世紀 : キュビズムから抽象へ

ピカソ、ブラック、レジェら、20世紀初頭にフランスで起こったキュビズムとその後の展開を示す作品を展示。



ファン・グリス《ピエロ》1919年

①

この他、パブロ・ピカソ《二人の人物》1934年の図版を提供できます。

別添チラシ裏面 の図版をご覧ください

第8章 20世紀 : 素朴派から新たなリアリズムへ

アンリ・ルソーら素朴派から、新たなリアリティある表現を開拓したジャコメッティやモランディまで、20世紀半ばまでの具象作品の系譜を紹介する。



アンリ・ルソー《赤ん坊のお祝い!》1903年

②

この他、アルベルト・ジャコメッティ《林間地(9人の人物による構成)》1950年の図版を提供できます。

別添チラシ裏面 の図版をご覧ください

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

別紙の申込書をご使用ください。

上記図版を媒体掲載される際には、作者名、作品名、制作年、を必ず記載してください。

なお、①、②の図版を掲載する場合には、お手数をおかけいたしますが、貴社から事前に美術著作権協会への申請が必要となります。申請手続きは、Fax 1枚を美術著作権協会へお送りいただくのみです。同協会より複製使用の許諾が交付されましたら、全ての複製に作者名、作品名、制作年、及び許諾書上に記載された著作権表示をご明示ください。

著作権使用料は、以下の(1)～(4)をすべて満たす場合のみ免除されます。

(文字寄せ無し・全図使用を前提とします。)

- (1) 展覧会広報のみを目的として新聞・雑誌に作品複製を使用する場合。
- (2) 掲載サイズが名刺サイズ以内(9×5.5cm)もしくは49.5cm²以内で、1媒体につき2作品まで。(3点目より有料)
- (3) 記事(解説文等)の部分が、会期、会場、料金、開館時間の情報を除き、400文字以内であること。
- (4) 雑誌に関して 表紙・裏表紙ではなく、本文中への複製使用に限られます。

インターネット上での使用は著作権使用料免除の対象外です。

写真借用のお申し込みがございましたら、美術著作権協会への申請用紙も併せてお送り致します。

ゴッホも、ルノワールも、すべてが日本初公開!!

ザ・コレクション・ヴィンタートゥール

広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

営業・広報グループ 行

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

希望写真(作品名)			
貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号	()		
F A X 番号	()		
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名	分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、下記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。

兵庫県立美術館 営業・広報グループ
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1
 電話(078)262-0905